

「きょうと福祉倶楽部」の名前に込められた思い

おかげさまできょうと福祉倶楽部は来年で20周年を迎えます。

2000年に介護保険が施行され、介護は国の責任から利用する個人の責任で『契約』する商品に変わりました。また、介護保険で言うところの介護は身体の機能は見るけれどその人の暮らしを見ない狭い概念で行われるようになりました。

人は社会の中で様々な関係性の中で暮らしています。だから介護は利用者と他者の相互作用も考えなければならぬものだと私たちは理解しています。たとえば介護度は「要支援」でも家族の介護放棄や虐待があれば区分支給限度額を超えた支援でなければ生活が維持出来ない事例もあります。反面「要介護5」でも家族の力などが満たされていれば区分支給限度額まで支援を使わなくとも生活が継続出来ることもあります。

しかし、介護保険は『人』を見ないで人の『機能』を数値化して支援の量をはかる福祉的視点には欠けたものです。

そんな時代を迎え、きょうと福祉倶楽部は暮らしと家族のなかの人を見る「本当の福祉を守りたい」という願いを実現するために作られました。そしてその思いは法人名、事業所名にも込められています。

法人名の「おとくに福祉研究所」には福祉援助は単に優しい心だけで無く、福祉には地域や家族を分析する力など社会科学に裏打ちされたものであるべきという思いが込められています。

事業所名の「きょうと福祉倶楽部」は楽しく皆で仕事をする、そして本当の福祉を作る仲間でありたいという願いを込めて命名されたものです。時代はさらに個人の自己責任を問い、高齢者、障がい者の幸福に国が関わらない流れが続いています。そんな時代だからこそ私たちはこれからも楽しく、本当の福祉を目指す仲間と歩み続けたいと考えています。

本の紹介

史上最悪の 介護保険改定?!

上野千鶴子 編
樋口恵子

もはや無知は罪。
介護保険の危機を知ろう!

誰でもいつかは歳をとる。
みんなの親の老後のために、みんな自身の老後のために、
そしてこの社会も介護不存にならないために、
放ってはいけない現場の実情。

おとも、読んでみる(はじめての介護)
きょうと福祉倶楽部

著者 上野 千鶴子 編,
樋口 恵子 編

通し番号 1079
刊行日 2023/06/06
ISBN 9784002710792
Cコード 0336
体裁 A5
並製・112頁
定価 780円+税

介護保険の『改定』がいま準備されています。しかしその内容は改定と言うよりも、改悪という言葉が相応しいものです。

国の思惑どおりこの改悪が実行されるならますます私たちの元から介護が遠ざかります。

ここまで危機的な状況に置かれながら、残念な事に現場で働く人たちも介護保険を利用される方々も具体的にどうなっていくのかを理解していない現実があります。

直感的に「やばいんじゃない?」と感じていても何がどうなされようとしているのかを多くの方々が知って怒りの世論を作っていかなければ手遅れになりかねません。

本書はそれぞれの分野で介護に携わる方がその問題点を具体的に指摘し、あるべき方向性を示しています。改悪されて「こんなはずではなかった」と後悔する前に、皆で介護保障の進む道を考えるナビゲーターになるこの本を手にとって頂きたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う

利用者のみなさんへのごお願い

- サービス利用中は可能な限りサービスご利用の方もマスクの着用をお願いします。
- 利用者、同居の家族のかたの体調不良(発熱など)はあらかじめきょうと福祉倶楽部までご連絡ください。

有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部



〒617-0824
長岡京市天神4丁目7-12 ハイソプラ101号
TEL 075-958-2560
FAX 075-957-2808
E-mail info@fukushi-club.com

